見　本

誌

（例）株式会社なぎさ製作所

六十三年の
あゆみ

1963 — 2026

神戸市長田区・プレス加工

2026年10月1日　発行

GOAISATSU

最後のごあいさつ

このたび、（例）株式会社なぎさ製作所は、2026年9月30日をもって 六十三年の操業を終えることといたしました。

祖父が長田の借家の一角でプレス機を1台まわしはじめたのが、1963年のことでした。 父が継ぎ、わたくしが継ぎ、ここまでまいりました。 続けることが目的になってはいけないと、父はよく申しておりました。 決めたことを、ただ申し上げます。

この六十三年に、のべ214名の方がこの工場で働いてくださいました。 震災のあと、だれに言われるでもなく片づけに出てきてくださった方々のこと。 受注が半分になった年に、辞めないでくれた方々のこと。 そのひとつひとつを、わたくしは忘れません。

お取引先のみなさま、ご近所のみなさまにも、長くお支えいただきました。 まだ精度が出せなかったころ、作り直しに付き合ってくださったこと。 納期に遅れたとき、待ってくださったこと。 お詫びとお礼を、あらためて申し上げます。

機械は、使ってくださる方のところへお譲りいたします。 1968年から回り続けた15トンプレスは、（例）東播金型さまが引き取ってくださることになりました。 あの音が、どこかでまだ鳴っていると思うと、少し気が楽になります。

この冊子は、みなさまとの六十三年を、紙に残しておきたくて作りました。 どうぞ、お手元に置いていただければ幸いです。

2026年10月1日

（例）株式会社なぎさ製作所　三代目代表　**渚　真希子**

NENPYO 1

会社のあゆみ　前半

1963 昭和38	**創業。**渚源三が、長田区の借家の一角でプレス加工を始める。 従業員3名、15トンプレス1台
1965 昭和40	はじめての継続注文。自転車部品の金具を、月2,000個
1968 昭和43	**いまの場所へ。**15トンプレスを2台に。 このうち1台は、最後の日まで回り続けた
1971 昭和46	自動車部品の二次下請けとして、（例）六甲自動車部品さまとお取引が始まる
1974 昭和49	不況。週4日の操業に落とす。だれも辞めさせなかった
1976 昭和51	**株式会社なぎさ製作所に改組。**従業員12名
1979 昭和54	はじめての新卒の方を迎える。（例）中村正一さん、18歳
1981 昭和56	**第2工場。**80トンプレスを入れる。従業員24名
1985 昭和60	検査の記録を残す仕組みを整える。全数検査から抜き取りへ
1989 平成元	**従業員38名。いちばん人が多かった年。** 工場の前で、全員の写真を撮った
1991 平成3	創業者 渚源三 退任。**渚和彦、二代目に**
1995 平成7	**震災。**工場が傾き、3か月のあいだ操業が止まる。 だれに言われるでもなく、社員の方が片づけに出てきてくださった

NENPYO 2

会社のあゆみ　後半

1996 平成8	**工場を建て直す。**いまの建屋。486平方メートル
1999 平成11	創業者 渚源三 逝去。享年81
2002 平成14	**金型の内製を始める。**直しが、その日のうちにできるようになった
2005 平成17	取引先が20社を超える。1社に寄りかからない形に
2008 平成20	**受注が半分に。**役員の報酬を下げてしのぐ。 このときも、だれも辞めさせなかった
2011 平成23	東日本の震災。1995年に助けていただいた御恩として、 部材を無償でお送りする
2014 平成26	二代目 渚和彦 逝去。享年67。**渚真希子、三代目に**
2016 平成28	**医療機器の部品へ。**公差が10分の1になり、 若い方が3名入ってくださった
2020 令和2	感染症。マスクの部材を無償でお納めする。 月に18万枚ぶん、3か月
2023 令和5	ベテランの引退が重なる。従業員14名
2025 令和7	**たたむことを決める。**お取引先に、1年前からお伝えする
2026 令和8	**9月30日　操業終了。**最後の日、15トンプレスを1回だけ回した

SUUJI

数字で見る、六十三年

操業した年数

63 年

1963年4月1日から、2026年9月30日まで。23,194日

働いてくださった方

214 名

のべ人数。いちばん多かった年は1989年の38名

お取引先

86 社

のべ社数。最後の年は11社

作った部品

1億2,400 万個

出荷の記録が残っている1976年からの合計。おおよその数です

いちばん長い勤続

42 年

（例）中村正一さん。1979年4月から2021年3月まで

工場の広さ

486 平方メートル

1996年に建て直した建屋。2階は事務所と休憩室

いちばん長く回った機械

58 年

15トンプレス。1968年から2026年9月30日まで

止まっていた日

92 日

1995年の震災のあとの3か月。この63年で、ここだけ

数字は、残っていた帳簿・出荷の記録・名簿から数えたものです。記録のない年は、おおよその数と書いております。**分からないものは、分からないままにしてあります。**

HAJIMARI

はじまりの話

創業者 渚源三が、生前に話していたことを、ご家族と、 当時を知る方からの聞き取りでまとめました。

プレス機1台と、借りた一間から

1963年の春。源三は45歳でした。 勤めていた鉄工所が店じまいになり、退職金の代わりにもらったのが、 使い古した15トンプレス1台だったといいます。

置く場所がない。知り合いに頼み込んで、長田の借家の土間を借りました。 電気が足りず、はじめの半年は昼にしか動かせなかった。 夜は、翌日ぶんの材料を手で切っていたそうです。

「ええもん作っとったら、だれかが見つけてくれる」

営業に出るのが、とにかく苦手な人でした。 かわりに、断られた仕事ほど丁寧に作って返したといいます。 1965年、自転車部品の金具で月2,000個の注文をいただいたとき、 源三は検査の台を自分で作り、1個ずつ見てから箱に入れました。

その癖は、そのまま会社に残りました。 2016年に医療機器の部品をお受けできたのも、 「全部見てから出す」が六十年続いていたからだと、三代目は申します。

工場の音

ご近所の方から、こんなお話をうかがいました。 「朝、プレスの音が聞こえると、ああ今日も始まったなと思った。 音がせん日は、何かあったんかと心配になった」。

止まっていたのは、六十三年でたった92日。 1995年の震災のあとの3か月だけでした。

K O U B A

工場と、道具



（例）工場の外観。1996年に建て直した建屋。手前は、来客用の駐車場



（例）15トンプレス。1968年から58年



（例）金型の棚。内製を始めた2002年から



（例）検査の台



（例）朝礼の場所



（例）2階の休憩室

この見本では、お写真の入る場所を枠でお見せしています。
実際の記念誌では、**お預かりしたお写真をこちらで選んで組みます。** 古いお写真しかなくても結構です。アルバムのまま、お預かりいたします。

K O E　1

働いた方々から

（例）中村　正一　勤続42年・1979年入社

18で入って、60で辞めるまでここだけでした。 はじめの3年は、材料を運ぶのと掃除だけ。 プレスを触らせてもらえたのが4年目です。いまならすぐ辞められてしまう。 そのかわり、触らせてもらった日のことは、いまでも覚えています。
震災のあと、だれも呼んでないのに十何人も出てきた。あれは不思議でした。

（例）井上　久美　勤続27年・事務

数字を打ちながら、工場の音を聞いていました。 音でだいたい分かるんです、今日は順調やなとか、 何か詰まってるなとか。
最後の月、請求書を作るのがこれで終わりやと思ったら、 手が止まってしまって。会長さんにお茶を淹れていただきました。 27年で、はじめてでした。

（例）森本　健太　勤続9年・2016年入社

医療の部品をやると聞いて入りました。 前の職場とくらべて、とにかく検査が細かい。 なんでここまで見るんですかと聞いたら、 中村さんに「出したもんは、戻ってこんからや」と言われました。
その意味が分かるのに、3年かかりました。

（例）辻　雅美　勤続16年・検査

子どもが小さいころ、熱を出すたびに早退させてもらいました。 それを一度も嫌な顔をされたことがない。 そのぶん、ここでは手を抜かんとこうと思ってやってきました。
その子が、来年から働きます。この工場の話を、よくしています。

K O E　2

お取引先さまから

（例）六甲自動車部品　株式会社　1971年からのお取引

うちが二次に出し始めたころからですから、五十五年になります。 納期に遅れたのは、五十五年で三度だけ。 そのうち二度は震災の年でした。
値上げのお願いに来られたことが一度もない会社でした。 こちらから上げさせていただいたことは、何度かあります。

（例）みなと医療器　株式会社　2016年からのお取引

町工場さんに医療の部品はむずかしいと、正直思っておりました。 最初の試作で、公差の真ん中にぴたりと入ってきて、驚いたのを覚えています。
あとで、全数を手で見ておられると知りました。 うちの検査より細かかった。

（例）東播金型　株式会社　2002年からのお取引

金型を内製されると聞いたとき、仕事が減るなと思いました。 ところが、むずかしいものだけ回してくださるようになって、 かえってお付き合いが深くなりました。
あの15トンプレスは、うちで引き取らせていただきます。 まだ十年は動きます。

お取引先さまからのひと言は、**お願いの文面の下書きから、お届けと回収まで**お手伝いいたします。 いただいたお言葉は、そのまま載せます。こちらで直すことはいたしません。

SAIGO NO HI

2026年9月30日

8:00	いつもどおりの朝礼。**連絡事項は、なし**
8:10	最後の出荷ぶんの梱包。（例）みなと医療器さま向け、4,200個
10:30	トラックが出る。11名で見送る
12:00	お弁当。（例）近所の食堂さんから、差し入れの煮物が届く
13:00	工場の掃除。だれが言い出すでもなく、床を磨きはじめる
16:00	**15トンプレスを、1回だけ回す。** 材料は入れず、空打ちを1回。58年で、最後の1打
16:05	主電源を落とす。音が消える
16:30	工場の前で、全員の写真を撮る。1989年と同じ場所
17:00	三代目から、ひとりずつに手紙をお渡しする
17:40	**シャッターを下ろす。**六十三年



（例）2026年9月30日 16時30分。工場の前で。1989年と同じ場所、同じ並び方で

A R I G A T O U

ありがとうございました

この六十三年に、この工場で働いてくださった方々です。

記録の残っている1976年からのお名前を、入社の順に並べました。

（例）中村　正一　1979
（例）大西　勝　1980
（例）山本　敏夫　1981
（例）藤井　和子　1982
（例）岡　隆之　1983
（例）西村　登　1984
（例）小林　千代　1985
（例）谷口　実　1986
（例）北川　浩二　1987
（例）上田　幸子　1988
（例）松井　博　1989
（例）吉田　清　1990
（例）川上　澄子　1992
（例）平岡　寛　1994
（例）宮下　孝　1996
（例）井上　久美　1999
（例）長谷川　誠　2001
（例）木村　直也　2003
（例）坂口　純子　2005
（例）内田　亮　2007
（例）辻　雅美　2010
（例）渡部　大輔　2012
（例）菅原　美和　2014
（例）森本　健太　2016
（例）高井　翔太　2017
（例）竹内　真理　2019
（例）岸本　晃　2021
（例）福本　陽子　2023

1976年より前にお勤めくださった方のお名前は、記録が残っておりませんでした。**分からないものは、分からないままにしてあります。**もしお心あたりがございましたら、ご一報いただけますと幸いです。
ここに並べてよいかどうかは、**お一人ずつにお尋ねしてから**載せています。

OKUZUKE

奥付

書　　名	六十三年のあゆみ
発行の日	2026年10月1日
発　　行	（例）株式会社なぎさ製作所
	神戸市長田区◯◯町0-0-0
発行の責任	三代目代表　渚　真希子
編集・制作	AI伴走LABO「はなむけ」
	株式会社スリーピース
聞き取り	2026年7月14日（90分）／ご家族・社員の方4名・お取引先3社
部　　数	20部
印　　刷	（例）◯◯印刷株式会社

この冊子の作り方

1　**聞き取り（90分・1回）**　いつ始められて、何があって、どんな方がいらしたか。資料がなくても、おうかがいした話から作ります

2　**下書きをお出しします**　沿革・年表・ごあいさつ・声の原稿。**直していただいてから、形にします**

3　**お写真の整理と組版**　お預かりしたお写真から選んで並べます。アルバムのままお預かりいたします

4　**冊子 20部**　お手元に残る形で。**1冊は、代表のお手元に**

これは見本です。会社名・お名前・年月日・数字は、ぜんぶ作りものです。実在のものではありません。
お写真は、入る場所を枠でお見せしています。
実際の記念誌は、**おうかがいしたお話から、お客様ごとにお作りします。**文の調子も、ページの数も、ご相談のうえで決めます。
21部目からは1部につき加算となります。くわしくは、お見積りのページをご覧ください。